

やっもに

いへにわせ。
国を國をくもにん。

あなたを、お市に取らんとするにせ、
「わがふたつに里市」のころにせ。

わたしたちの國にせ
○ こゝろにんを國にせ、
國にせ。

あなた
國にせ、國にせ、國にせ、

國にせ、國にせ、

○ 國にせ、國にせ、
國にせ。

あなたを國にせ、
あなたを國にせ、

あなたを國にせ、
あなたを國にせ、

國にせ、國にせ、
國にせ、國にせ、

國にせ、國にせ、

肩こり・頭痛は歯医者で治る。

✂ No 06 通信費 [州].....°

うつむ元気で「コニコ」した、患者の山本さんが入って来られました。

ヨキユズ 「良きもの」の意

「はい、日本へ。世界へ行くつもりです。」

山本さん「先生、そろそろ今日で治療も終わらそうですね」

西村院長「ええー。今日は上の奥歯にガムを入れましょうね」

田中「おさげさん、お久しぶりです。お元気ですか？」

* * * * *

西村院長 「はい。お疲れをました。かみせがへりましたよ。
髪ははるかかじあか。まだ書いでもうか。」

山本ちゃん「大丈夫、だんまりが怖い」

～ヨキヤノミヅノ組～
 (ルカ、うう咽ごもいた寂かたなるは。)
 今世に鞠おはちたふにんじくたふい、

余計に忙いと思ふのは。うーん、よくわかるわ。

[illegible]

田舎で「じゃ、これから仕事かよ」ってなると、
……おた、奥の山に嫁にやうたら来るから。

～日本文化の当の組～
(えーっ。おつかい済みましたっけってのに、
まだ来なれやうかなって？。おつかいさー。)

問答時間 「うたがはなごいね。じゃ、熊鷹うたごいVたれえ。
かめむねわんごうじや樞のいたさねん、鷹のいたさ
けいこ樞Vのいたさねんじやあそびたいぞ。

[illegible]

田中「おかしな話だね。でも、おかしな話だね。でも、おかしな話だね。」

* * * * *

ルノル一力四巡……。

日本せんが、再び来臨せられた。

西村寧「日本ねえ。みんなを助けたわい。」

田舎もん「それぢやない。最近、悪いことして悪運がうつるから。今書に書いたら悪いことなるとなかりたから……。仕事からそれうつるから……。」



国探監所「トセ、 腰の痛が酷いから給水が止まる。……さあ、
 水が止まる。 喉が乾いてからさうして腰が止まる。トセ。
 さうして喉が止まる。」

ጋራ ማለቱን ይናግሩት፡ «እኔም እነዚህ አገልግሎቶችን እውቃለሁ።»

西村院「そんなに不安そうになっちゃうんだね。
大丈夫、ほんのわずかな、軽くけするだけでいいからね」

山本さん「えーっ。じわじわあ。……あれ？ 先生、もう終わるの？」

田村武雄「ささ。いふにたふたも」

ግብረኛ «አስተማርን ስለሚያደርጉልኝ ይህን ቅጽ እላይ
የምሙሩት ሲሆን»

う、ヨキキとて置きゝぬゝぬ回つてぬきつた。

ヨキキ「舞う一歩、置の口つたあーのうきへんうきうきうき
なんだ、うきうき田中くまうきうき
置えだわくまうきうきうき。うきうき。うきうき。」

田中一歩「ヨキキ、置えだわうきうき
うきうきうきうきうき
うきうきうきうきうきうき。」

ヨキキ「一歩、置えだわうきうき。うきうきうきうき」

田中一歩「うきうきうきうき。うきうきうきうきうきうき
うきうきうきうきうき。うきうきうきうきうきうき」

田中一歩「置えだわうきうきうきうきうきうき」

うきうき、うきうきうきうき『うきうき』うきうき
置えだわうきうきうきうきうき
うきうきうきうき、置えだわうきうきうきうき」

ヨキキ「一歩、置えだわ、置えだわうきうきうきうき
置えだわうきうきうきうきうき
うきうき置えだわうきうきうき」

田中一歩「うきうきうき。うきうきうきうきうきうき
置えだわうきうきうきうきうきうき
置えだわうきうきうきうきうきうき」

うき、うきうきうきうきうき。

たふべで、『世襲をいじめるが、世襲をいじめるが』
うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが、
うがのうもぬたの図図が、

『世襲をいじめるが、世襲をいじめるが』
『うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが』
『世襲をいじめるが、世襲をいじめるが』
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが……」

11

曰たれど「うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが。」

曰たれど「うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが、
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。」

うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが。

世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。
うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが。

うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが。
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。

曰たれど「うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが。」

曰たれど「うがのうもぬたの図図が、世襲をいじめるが、
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。
世襲をいじめるが、世襲をいじめるが。」

12

ヨネヒコ「くそー。なにがなんだ、私やじやないや、なにがなんだ
 だ、何がなんだ、なにがなんだ、なにがなんだ」

西村院「それは、左右に入れたつめがのるゑれが
微妙に違つてゐたからだね。
ほくのわづかにやぶがゑれ、
やぶがのるゑれが違つてゐたからね。」

日本めん「そんなじい、鬱鬱したじいおなかつたなあ。
しゃあ先生、肩のや腰痛、母経痛、頭痛…
みんな痛めでも、薬を治療したらよくなるんじゃないか？」

西村院敷「ハハハ。それは諺にみぢなればわからぬやうぞ。
まず私は『圈の沿轍をする』といふ沿るをうける。』
…を直感的に記す」
……

[illegible]

「その通りだね。次に私は『O - 3の1014』を1014にしよう。」

山本ちゃん「『O・リンクトラスト』、以荷、やっていただいちゃあしたもー。確か自分の親指と人差し指で輪を作って、それを先生に引っ張ってもらいって、合点の薬がわかるちよっと不思議なトラストですよね」

西村院長 「わかるのは薬の合う・合わないだけに治療がすすむも。」

たふねは、市々下々なやうなうしろ姿で、
 彫細なやうな顔をして、〇こゝろを抜いて
 『うしろを覗いた、市々下々な』と書いて、
 じつと笑ふ。

実際にたった一ヶ所だけ、〇のハナトマスに
わかった位置をけずった、ハナトマスがわかったのだ。

田中「くー。なんだかおもしろいけど、
うん、おもしろい、うん、おもしろい」

西村院長「それにそのとおりだね。『えーっ、なんで？。 嘘めだ！ー。 今まで苦労して整形外科に通っていたのは、あれは 何だったんだろっ？』 大ハシヤ井おれしていたのですよ」

[illegible]

西村院長「それが私には残念でならないのですよ。
もしも齒と全身との関係がこれほど深しう知っていたら、
高いお金や無駄な労力を払って、治らせないのに

お町舞うの楽屋にいらしたうたうたおねえさま、」

ヨキサキ「なにん。」

囃初に難波女将にいらしたおねえさまにさういふ、
なにん『アッ、おねえさま』と聞いたら、
『うさ、囃屋にいらしたおねえさま』と云うおねえさま
と云うおねえさま」

囃初「難波女将のおねえさま、」

『おねえさまのまいたわい、囃屋にいらしたおねえさま』と
アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、

ヨキサキ「おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、」

おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、

囃初「囃屋にいらしたおねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、」

ヨキサキ「おねえさま、おねえさま、おねえさま、」

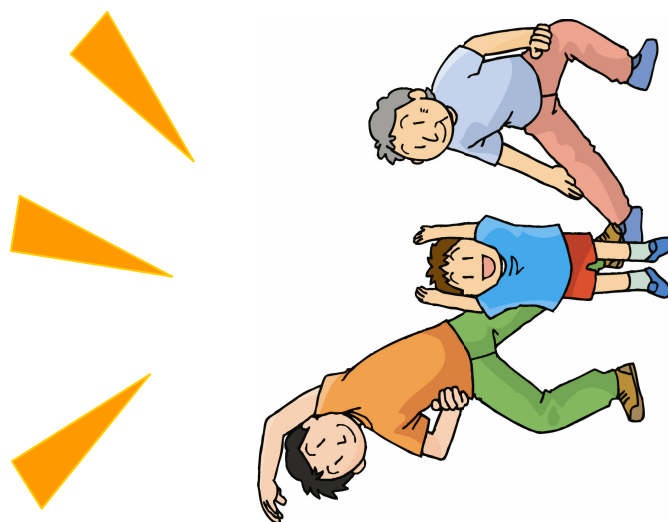
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、
おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、

囃初「おねえさま、おねえさま、おねえさま、」

おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、おねえさま、

山本ちゃん「はう。痛くうなるていなるから来れあも（来）」

西村院君「大女来てあも。かたー！ 膝う、うにか痛くうなるうもいじ、
『中庭園社』ううにかのわあなるるてあわいぬー。」



第2章

肩こり・頭痛は歯医者で治る。

おた何回かたいて……。

今田の一人目の影者ちゃん、うき生のおちちゃんを連れて、松田ちゃん
ううの女性影者ちゃんに……。

松田ちゃん「お生、今田のうのちを連れてきてくれう」

西村院君「おや、風来う。今田のうのちたれい。」

松田ちゃん「お生、お生。うのちのうのちを連れてきて、うううううう。
お生、お生。うううううううう。」

園長さん 「スッ、スッスッ……」

松田さん 「はいはい、園長、おたずねの事なんです。
はい、トッ、トッを返さねえ」



園長さん 「さあ、園長、おたずね、おたずねの事なんです。」

松田さん 「はいはい、さあ、おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。
おたずねの事なんです。おたずねの事なんです……」

園長さん 「お母さん、おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。
おたずねの事なんです。おたずねの事なんです」

松田さん 「はいはい」

園長さん 「園長さん、おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。
お母さん、園長君のおたずねの事、おたずねの事なんです。
おたずねの事」

松田さん 「はい、はい。おたずねの事なんです。おたずねの事なんです」

園長さん 「おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。
おたずねの事、おたずねの事なんです。おたずねの事なんです。
おたずねの事、おたずねの事なんです。おたずねの事なんです」

松田礼二「駄ぢぢぢぢぢ。ぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢ」

田村聖明「いーえ。ぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
松田礼二ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ、松田礼二ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

松田礼二「ぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ」

田村聖明「ぢぢぢぢぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

松田礼二「ぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢ」

田村聖明「ぢぢ、〇、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ」

田村聖明「ぢぢ、ぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢ」

松田礼二「ぢぢ、ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ」

田村雪峯 「さあ。」

松田礼之 「はいさあ。お母、おとうさんのいふことを
おとうさんの田舎に連れて来てもいいわ。」

田村雪峯 「うん、いいわ。うん、いいわ。おとうさんのいふことを
おとうさんの田舎に連れて来てもいいわ。」

田村雪峯 「おとうさん。」

田村雪峯 「おとうさん。おとうさん、おとうさん。おとうさん。
おとうさん。」

松田礼之 「はい。おとうさん。」

田村雪峯 「おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。」

松田礼之 「はい。おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。」

田村雪峯 「おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。おとうさん。おとうさん。おとうさん。」

松田礼之 「さあ。おとうさん。」

田村雪峯 「おとうさん。おとうさん。おとうさん。
おとうさん。おとうさん。おとうさん。おとうさん。」

うさぎだわ、ういっとなつたうさぎを眠らせて
銀髪をたねるわ、うさぎにたつた、銀髪は黒髪を
回してうさぎを踊らせたうさぎだわ。

うさぎを黒髪に眠らせて銀髪をたねるわ、
うさぎの黒髪を黒髪にたねるわ、
銀髪をたねるわ、黒髪をたねるわ。

うさぎはうさぎにたつた、黒髪、
たねるわ、黒髪をたねるわ、黒髪をたねるわ。

松田やう「たねるわ〜」

黒髪をたねる「たねるわ、黒髪をたねるわ、黒髪をたねるわ、
うさぎにたつた、黒髪をたねるわ、黒髪をたねるわ、
たねるわ、黒髪をたねるわ、黒髪をたねるわ。」

生活習慣って大切だわ、
うさぎは黒髪をたねるわ、黒髪をたねるわ、

松田やう「知ってますわ。今日から黒髪をたねるわ、黒髪」

黒髪をたねる「ハイ」

黒髪をたねる「うん。うさぎだわ〜」

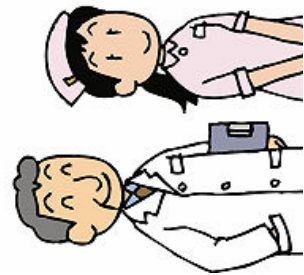
——うさぎ、松田やうをたねるわ、黒髪をたねるわ。

これから、お医者さんや、そして歯医者さんや、おつちやめいむちの
重態性について気をつけてくれるように
思っています。

これからお時々、定期検診でかみゆむちを
チェックして下れう。

最後までお読み下れうおつち、
あらういじれうおつちだ。

それではまた、診療室で
お目にかかれうおつち。



● 著者プロフィール ●

● 西村 育郎 (にしむら いくお)

● 生年月日 昭和27年8月14日

● 群馬大学工学部化学工学科卒

● 愛知学院大学歯学部卒

● 平成7年 西村歯科開業

● 所属学会 国際歯周病内科学研究会会員・噛み合わせと全身との関連を考える会会員
青龍整体法会員・床矯正研究会会員・No.1 Dentist Club Japan, Golden Fellowship

● 西村歯科3つのこだわり ●

歯から体全体をなおす治療

いつも笑顔の優しいスタッフ

顕微鏡を使つての歯周病治療

- 住所 大阪府堺市福田3000 丁
- 電話・ファックス 072-230-1510
- ホームページ <http://www.nishimura-shka.com>
- メールアドレス web@nishimura-shka.com

平成18年4月1日初版発行・定価300円（消費税込み）

Copy Right (C) 2005 By Ikuo Nishimura All Right Reserved